（2026年11月1日）

第11回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会の“見どころ・聴きどころ・楽しみどころ”

国際医療福祉大学医学部
リハビリテーション医学教室
角田亘（Wataru Kakuda, MD, PhD）

Welcome to the New Era of Rehabilitation Medicine

第11回 日本リハビリテーション医学会秋季学術集会

The 11th Annual Autumn Meeting of the Japanese Association of Rehabilitation Medicine

リハビリテーション医学の新時代へようこそ



2027 10/28 THU ~30 SAT

会場 パシフィコ横浜会議センター

会長 角田 亘 国際医療福祉大学医学部 リハビリテーション医学教室

第10回と同じく、パシフィコ横浜で開催です！

第11回秋季学術集会のコンセプト１

第11回
秋季
学術集会

is not

A small version
of
6月の学術集会

6月の学会とは異なる趣向で、斬新な企画・プログラムをご用意します！

第11回秋季学術集会のコンセプト 2

6月の学術集会



Advanced

Basic

第11回秋季学術集会

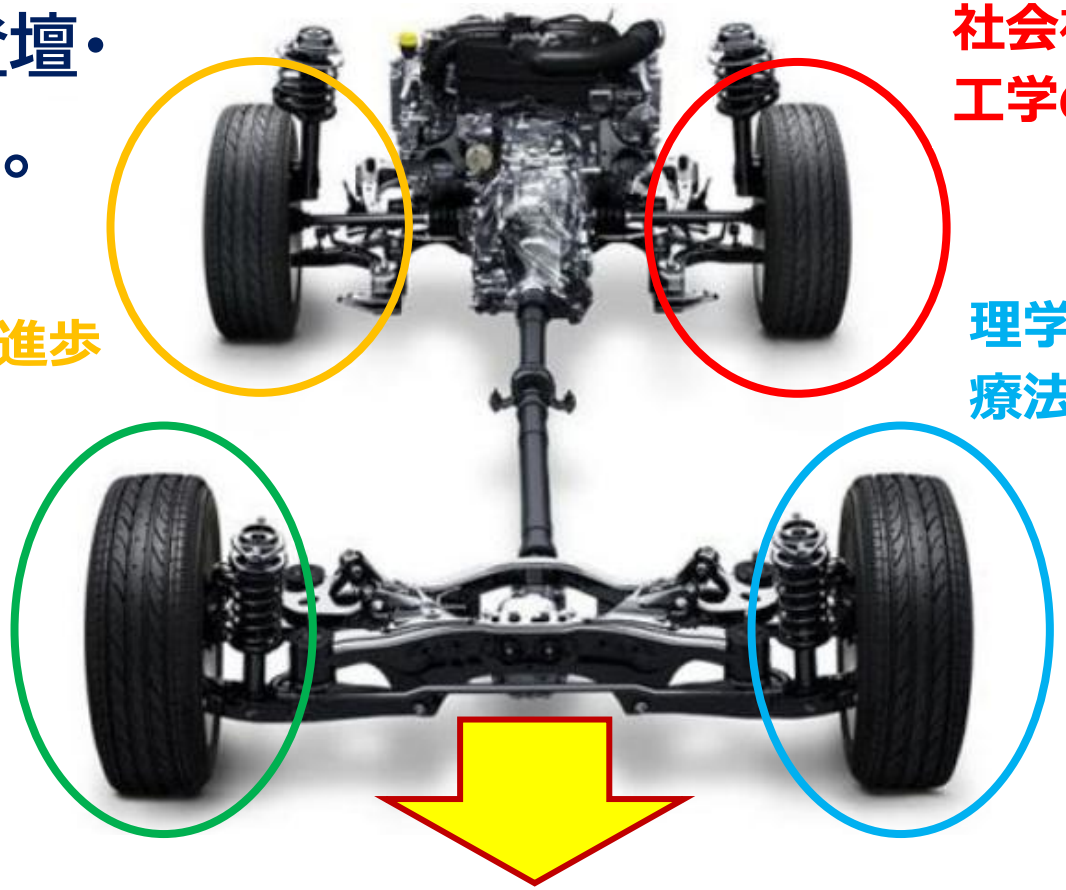


6月の学会とは異なり、リハビリテーション医療・医学の周辺領域（基本領域・応用領域・関連領域）にも焦点を当てます！

第11回秋季学術集会の
コンセプト 3

リハビリテーション医療・医学の発展のためには、
医師・療法士・看護師などの共同・協力が必要です！

職種の区別なく、ご発表・ご登壇・
質疑応答をしていただきます。



社会福祉学・
工学の進歩

理学・作業・言語
療法学の進歩

看護学の進歩

（医師による）
医学の進歩

リハビリテーション医療・医学の進歩！

Special Lectures

会長講演



第11回秋季学術集会会長
角田亘
「Living a happy life
as a rehabilitation doctor」

国際医療福祉大学医学部開学10周年記念講演



国際医療福祉大学
理事長
高木邦格先生



国際医療福祉大学
学長
鈴木康裕先生

特別講演



慈恵医大リハビリテーション医学講座
主任教授
安保雅博先生



国立保健医療科学院
院長
浅沼一成先生



新潟大学医学部
副学部長（医学教育学分野教授）
岡崎史子先生

Educational Lectures（教育講演）

教育講演は、6 つのカテゴリーで構成します。

1. U55 企画（11 講演）
2. ARD/T 企画（9 講演）
3. よこはま企画（11 講演）
4. 幅広企画（11 講演）
5. Current Topics
6. 指導医講習会・専門医共通講習会（11 講演）

1. U55 企画　Lecture Series by Promising Professors Under the Age of 55

Much Younger

演者名（敬称略）	演者所属	講演内容（仮、予定）
新見昌央	日本大リハビリテーション医学分野	脳卒中リハビリテーション治療の現状と今後の展望
内山侑紀	兵庫医大リハビリテーション医学講座	脳可塑性をもたらす新たな神経回復メカニズム
梅本安則	札幌医大リハビリテーション医学講座	運動療法と物理療法
向野雅彦	北海道大病院リハビリテーション科	ICFと生活機能統計
百崎良	三重大大学院リハビリテーション医学分野	リハビリテーション科医のためのデジタルリテラシー講座
松瀬博夫	久留米大リハビリテーションセンター	運動負荷から考える骨折予防戦略
入澤寛	獨協医大リハビリテーション科学講座	高齢脳卒中患者に対する運動・栄養治療戦略
幸田剣	和歌山県立医大リハビリテーション医学講座	早期離床と術前からの運動療法の生活期までの取り組み
尾川貴洋	愛知医大リハビリテーション医学講座	安静が奪う回復機会と次世代医療戦略
篠田裕介	埼玉医大リハビリテーション医学講座	転移性骨腫瘍のリハビリテーションとロコモティブシンドローム
林哲生	福島県立医大リハビリテーション医学講座	脊髄損傷の急性期から社会参加へ向けての治療戦略

新時代を担う“55歳未満の教授”11人にご講演をいただきます！

2.ARD/T企画

Academic Rehabilitation Doctor/Therapist になる！

*Academic Rehabilitation Doctor/Therapist（ARD/T）＝日々の臨床業務のみならず、
リハビリテーション医学の発展にも力を注ぐ医師・療法士

テーマ	演者名（敬称略）	演者所属・肩書
研究をする	下畑亨良	岐阜大脳神経内科 教授
論文を書く	田中俊英	慈恵医大脳神経外科 教授
統計解析をする	藤田烈	国際医福大未来研究支援センター 准教授
AI を使う	尾﨑尚人	千葉大大学院地域医療教育学特任 助教、慈恵医大リハビリテーション医学講座 助教
英語を使う	フロレスク・コスミン	筑波大医学医療系英語学 助教
留学する	山口佳小里	国立保健医療科学院医療・福祉サービス研究部 主任研究官
海外で働く	小無田美菜	国際医福大病理学 教授
起業する	田村雄一	国際医福大循環器内科学 教授、（株）カルディオインテリジェンス CEO
機器を開発する	井上学	医薬品医療機器総合機構（PMDA） 理事長特任補佐

本邦医学界の Academic Activity をリードする11人の先生にご講演をいただきます！

3. よこはま 企画

よ＝弱い分野を学ぶ
こ＝これくらいは知っておく
は＝恥をかく前に
ま＝まだ間に合う

テーマ	演者名（敬称略）	演者所属
高次脳機能障害	平岡崇	川崎医大リハビリテーション医学講座
神経難病	南里悠介	佐賀リハビリテーション病院
摂食・嚥下障害	大橋美穂	日本医大附属病院リハビリテーション科
骨関節疾患	永房鉄之	佐賀大リハビリテーション科
切断	濱田全紀	岡山大リハビリテーション科
下肢装具	殷祥洙	湖山リハビリテーション病院
自動車運転再開	武原格	東京都リハビリテーション病院
じょく瘡	石澤美保子	奈良医大看護学科
脊髄損傷	山上大亮	神奈川リハビリテーションセンター
サルコペニア	冬賀清香	東京女子医大リハビリテーション医学講座
周術期医療	高嶋俊治	浜松医大リハビリテーション医学講座

重要な11分野に関する、初心者・初学者向け（もしくは復習用）の講演です！

4. 幅広 企画　リハビリテーション科医/療法士としての幅を広げる！

テーマ（仮題）	演者名（敬称略）	演者所属	備考
新時代のための脳卒中再発予防	平野照之	杏林大脳卒中学講座	
リハビリテーションスタッフのための 臨床心理学	石原俊一	文教大人間科学部	
心臓エコー検査入門	白石裕一	京都府立医大リハビリテーション科	
疼痛管理・ペインクリニックを知る	下畑敬子	朝日大病院麻酔科	
骨粗鬆症の薬物治療最前線	齋藤充	慈恵医大整形外科学講座	ランチョンセミナー
漢方医療の基本を学ぶ	高山真	東北大漢方・統合医療学共同研究講座	ランチョンセミナー
リハビリテーションスタッフのための 血糖コントロール	西村理明	慈恵医大糖尿病内科学講座	ランチョンセミナー
てんかん治療の最新の知見	未定	未定	ランチョンセミナー
リハビリテーション診療に役立つ 不眠症治療	未定	未定	ランチョンセミナー
これからの便通異常症の治療	未定	未定	ランチョンセミナー
知っておくべき不穏・せん妄の対処法	未定	未定	ランチョンセミナー

リハビリテーション医療者であれば知っておくべき“関連11領域”のご講演です！

6. 指導医講習会・専門医共通講習会

	テーマ（予定）	演者名（敬称略）	演者所属
指導医講習会	リハビリテーション科医の将来	佐々木信幸	聖マリアンナ医大リハビリテーション医学教室
	骨関節疾患に対するリハビリテーション医療	堀内博志	鹿教湯三才山リハビリテーションセンター
専門医共通講習会	医療安全	吉川遼	神戸大リハビリテーション医学教室
	感染対策	矢野晴美	国際医福大感染症内科
	医療倫理	宮田千恵子	国立がん研究センター東病院リハビリテーション科
	医療制度と法律	岡村世里奈	国際医福大心理・医療福祉マネジメント学部
	地域医療	山田尚基	琉球大リハビリテーション科
	医療福祉制度	上田貴代	因島医師会病院
	医療経済	角田圭雄	国際医福大心理・医療福祉マネジメント学部
	両立支援	木下翔司	慈恵医大リハビリテーション医学講座
	未定		

多数の Exiting Symposium をお楽しみください！

シンポジウムタイトル
1. 院長に問う、回復期リハビリテーション病院はこれでよいのか？
2. リハビリテーション医療で老化に抗う
3. 内部障害・がんのリハビリテーション医療最前線
4. 脳卒中のリハビリテーション医療、次なるステージへ
5. リハビリテーション科医・療法士が考える Well-being
6. リハビリテーション科医がプライマリーケアに関わるということ
7. 魅力的なリハビリテーション医学講座・教室・医局を作り上げる
8. 脳卒中に対する革新的リハビリテーション治療
9. リハビリテーション医療におけるシン・メディカルスタッフ
10. リハビリテーション科医ならではの全身管理
11. 整形外科の術後リハビリテーションを極める
12. 施設・在宅でのリハビリテーション医療再考
13. Muscle Scientist としてのリハビリテーション科医・療法士
14. “評判の良いリハビリテーション科医・療法士” になるためには？

合同シンポジウム
1. 日本難病リハビリテーション研究会との 合同シンポジウム 「脊髄小脳変性症のリハビリテーション医療」
2. 日本理学療法士協会との合同シンポジウム 「歩く力を高める」
3. 日本作業療法士協会との合同シンポジウム 「高次脳機能を高める」
4. 日本言語聴覚士協会との合同シンポジウム 「食べる/飲む力を高める」

（第1日午後の予定）

特別シンポジウム

Legendary professor が語る、私がやったこと、やれなかったこと



前佐賀大病院リハビリテーション科
教授
浅見豊子先生



前京都府立医大リハビリテーション
医学教室
教授
久保俊一先生



前東北大大学院内部障害学分野
教授
上月正博先生



前藤田医大リハビリテーション医学講座
教授
才藤栄一先生



前和歌山県立医大リハビリテーション医学
講座
教授
田島文博先生

（左列上から、アイウエオ順）

リハビリテーション医学の“歴史”を築いてきた
5人の偉大な先生方から、
新時代へのメッセージをいただきます。

特別企画１（第3日午後）

～“新時代へ繋がる世界への発信”をみんなで讃える～

本邦のリハビリテーション科医による Priceless な英語論文 お披露目式

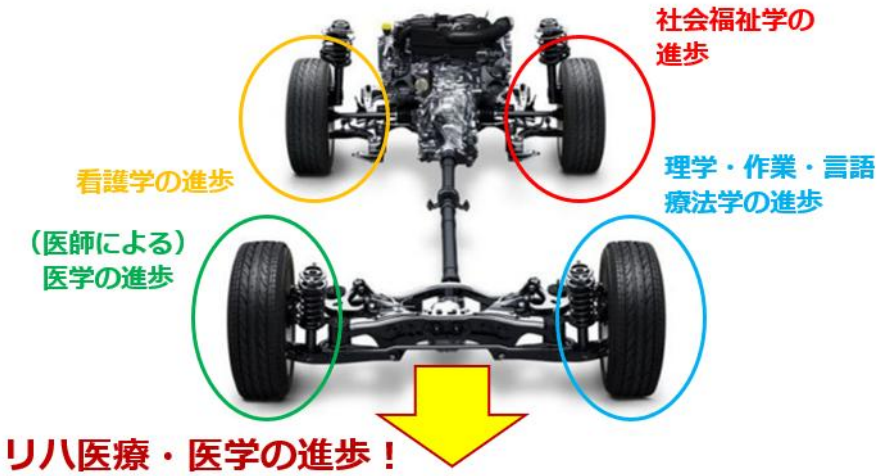
- 2024年7月1日～2027年6月30日の期間に Pubmed に収載された 本邦のリハビリテーション科医による優れた英語論文 を、お披露目（ご紹介）いただく。
- 発表者（8人程度）は、自薦・他薦による（発表者は、リハ医学会会員に限る。推薦締め切り日は、2027年7月1日）。
- 当日は「スライドは英語、口頭発表は日本語もしくは英語のいずれか」とする。
- 優秀論文に対しては、直後の学術集会閉会式で表彰を行う。

特別企画 2（第3日午前）

～“新時代へ繋がるコメディカルの研究”を多職種で共有する～

療法士・看護師による Excellent Research Activity 講演

- 2024年7月1日～2027年6月30日の期間に Pubmedもしくは医中誌 に収載された リハビリテーション科療法士・看護師による優れた研究論文 を、ご紹介いただく。
- 発表者（8人程度。日本リハビリテーション医学会会員に限らない）は、自薦・他薦による（推薦締め切り日は、2027年7月1日）。
- 優秀な発表に対しては、表彰を行う。



特別企画 3（第 2日午後）

新時代を担う
“リハビリテーション・プロフェッショナルの主張” コンクール

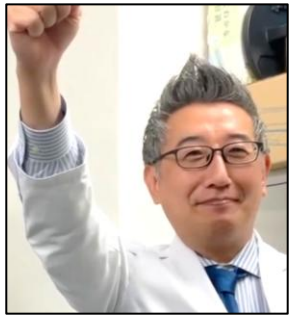
- 若手（40歳未満）リハビリテーション・プロフェッショナル（医師、療法士など）に、新時代に対する “夢・希望・意気込み・提案・計画” を壇上で主張していただく。
- 発表者は、全国公募（日本リハビリテーション医学会会員に限る）とする。
- 事前に “自らの主張” を作文として提出いただき、事前審査でファイナリスト（8人程度）を決定する（自薦である）。





NHK 青年の主張コンクール（1956～1989年）
（NHK 青春メッセージとして、1990～2004年まで継続）

総合司会



酒井良忠先生
（神戸大）



尾関恩先生
（藤田医大）

Medical Talk Show として、ひろみちお兄さんが登壇します！

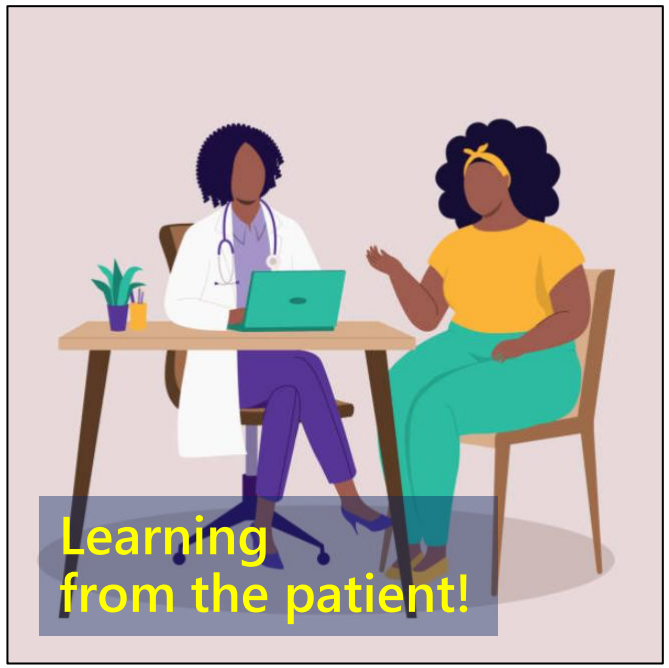


- 本名：佐藤弘道。
- 「おかあさんといっしょ」10代目たいそうのお兄さん（1993年4月～2005年4月）。
- CMにも多数出演（ランドセルなど）。
- 2015年3月に弘前大学大学院医学研究科博士課程修了（医学博士）。



- 2024年6月、脊髄梗塞を発症して、対麻痺となる。
- その後に長期的にリハビリテーション治療を受けて、歩行ができるまで回復した。

Best Case Report コンクールを開催します！



- 優れた Case Report（1 例の報告）を称える企画である。
- （職種の区別なく）医師・療法士・看護師などによる発表から選出する。
- Gold Prize 3演題、Silver Prize 3演題、Bronze prize 3演題を選出する（予定）。
- 新しい試みを行った症例、稀な疾患に対する治療経験、日常生活・社会活動・QOLの向上に成功した経験、とても印象的であった症例など、“みんなに知ってもらいたい症例、自慢したい症例”を発表していただく。

初めての秋に学ぶ！初めての秋を楽しむ！

■ 日本リハビリテーション医学会 秋季学術集会に“初めて”現地参加される方には、特別記念品を（もれなく！）贈呈します。



＊ 対象：第1～10回秋季学術集会には現地参加をしておらず、第11回秋季学術集会に現地参加をする方

SNSで見どころ・聴きどころをアピール！

■ 学術集会開催に先立って、学術集会の見どころ・聴きどころを、SNS（Facebook, インスタグラム, X など）で必死にアピールします。



■ 当方が練った企画を、ぜひ前もって知っていただきたい。

■ 当教室の（学術集会にかける？芸にかける？）熱意を知っていただきたい。

＊映像はイメージ（実際の映像は、この映像とは少々異なります）

Welcome to the New Era of Rehabilitation Medicine

第11回 日本リハビリテーション医学会秋季学術集会

The 11th Annual Autumn Meeting of
the Japanese Association of Rehabilitation Medicine

リハビリテーション医学の新時代へようこそ



2027 10/28 THU ~30 SAT

会場 パシフィコ横浜会議センター

会長 角田 亘 国際医療福祉大学医学部 リハビリテーション医学教室

ぜひ、ご参加ください！